

令和3年度

事業報告(案)

社会福祉法人白老宏友会

指定障がい福祉サービス事業

多機能型事業所 ポプリ

目 次

I、総括	1～3
II、就労継続支援B型事業	4～6
III、生活介護事業	7～8
IV、日常生活支援	9
V、健康管理	10
VI、給食業務	10
VII、管理業務	10～11
VIII、利用関係状況報告	12
添付資料 年間活動一覧	13～14

## I 総括

昨年度も、新型コロナウイルスは止まることなく世界的にパンデミックは続き、変異型ウイルスは後を絶たず、国内の状況においては、令和2年度と同様、まん延防止等重点措置、緊急事態宣言が繰り返し発令される状況にありました。年明けには、感染力が高いと言われているオミクロン株が発生し BA1、BA2、XE 等の新系統のウイルスが感染拡大し、管内をはじめ白老町でもクラスターが発生するなど全国的に猛威をふるいました。当法人においては、必要に応じて対策委員会を開催し、施設におけるクラスターの実例や国が示す指針を基に、引き続き毎日の館内消毒、保健衛生品などの備蓄、プラズマクラスター空気清浄機の増設を行い、日常的に感染防止、人命第一を課題に事業の運営を実施してきました。また、法人対策マニュアルに則し、感染リスクの低減を図るため一時的に24h型GHの利用者の日中活動をGHに移すなど、在宅利用者については、特にJRを利用し近隣から通所している利用者に対し、利用の有無を利用者、保護者の判断に委ね対策を講じました。ワクチンについては2月に無事3回目の接種を終えることが出来ました。以上の対策に加え、事業所においては、日常的に職員全体が感染防止対策に努めた他、利用者、保護者の協力により大事に至ることなく事業を終えることが出来ました。

就労事業の運営状況においては、年度当初ワクチン接種開発の話が進む中、コロナ禍の終息、経済回復を願っていましたが、結果、5月GW期間の人の動きもあり、連休明けから感染爆発が起き5月16日から末日まで緊急事態宣言が発令され、来館者数は激減し、再び緊急事態宣言が8月27日に発令されウポポイ（民族共生象徴空間）は9月30日まで休館となりました。また、まん延防止等重点措置の発令時には、感染防止対策として『ペーカリーショップななかまど』の日曜日営業を中止し、『sweets café ななかまど イレンカ』については次の期間を休業しました。（①5/20～6/22②8/30～9/30③1/27～3/22）就労事業収入については、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、減収分を補填すべく、感染対策に留意し可能な範囲で売上の向上、工賃財源の確保、安定経営を課題とし従来の事業に加えHP、SNSを活用した宣伝活動に力を入れた他、札幌販売の再開には至りませんでした。パンの卸取引（年間200万円売上）を継続するなど、新たに店舗受注発送事業、ふるさと納税返礼品、ロスパン対策としてリベイクパン事業に取り組みました。しかし、当初予定していた以上に、新型コロナウイルスによる損失は大きく、就労事業の収支結果においては、当初見込んでいた売上目標には程遠く、営業自粛による各店舗の売上げが落ち込み、大幅な減収となりました。結果、総売上7268万円に対し、266万円の支出増となり、工賃積立金の取り崩しを行い補填しました。利用者の月額平均工賃については、以上の情勢に伴い行政による緩和措置がとられましたが、36,700円の目標に対し、報酬単価枠である35,000円～45,000円内の35,158円を支給し収めることが出来ました。

清掃部においては、公共の施設内での活動ということもあり、感染予防対策に十分留意し取り組んできた他、給食事業を含む食品事業については、6月HACCPの義務化に伴う整備を実施した他、日常的に衛生管理や食中毒防止対策に取り組んできました。

生活介護については、引き続き『個別支援』に課題を置き、療育活動、創作活動、知育活動、レクリエーション、生産活動など従来の活動に加え、個々の利用者の特性や体力面を考慮し、新たな活動内容を模索し感染防止対策を考慮しながら創意工夫を凝らし充足した生活となるよう取り組んできました。利用者の日常的な健康管理として看護師による毎日のバイタルチェック、健康診断の総括及び、基礎疾患を抱える利用者の状態の把握、緊急時の対応、傷病時などの業務を行いました。

また、健康療法として免疫力を高める効果があると言われていた音読、笑いヨガを毎朝、昼食前に実施するなど健康体操などを継続的に実施してきました。生産活動においては、既存の活動に加え、自所製品の製造を主体とした事業の定着を目指し、引き続き自家焙煎珈琲豆の売上向上を課題に取り組んできましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、就労事業同様、各店舗の売上や各取引先の売上が減収した他、卸し販売では心のリゾート海の別邸ふるかわの取引が9月に停止、各取引先の売上が減収しました。工賃日額300円の支給は維持できましたが、結果、前年度対比53万円減収し279万円の売上となりました。

GHより通所している利用者におきましては、地域生活支援センターとの連携を図り、定期的なケース会議や情報交換を密にし、安心して充実した生活を送ることができるよう取り組んできました。また、令和3年度については、年明け管内での感染者数が急増した時には、感染拡大防止対策として24h型GH利用者の日中活動を一時的にGHに移し地域生活支援センターあぶろと協力体制の中、個々の利用者の特性に合わせた支援を行いました。在宅の利用者についても、利用者、保護者の意向に則し利用受入れを行ってきました。日常的には従来どおり連絡ノートや送迎時に保護者と情報を共有しながら協力体制の中、支援を行ってきました。

事業収入については、日常的に感染予防対策及び啓発に努めてきましたが、こうした社会情勢の中、就労事業については休みの希望者が増えたことに加え、生活介護については令和2年度まで土曜日の受入れを行ってきました。令和3年度より24h型GHの利用調整を行ったことにより、年間を通じて全体的に利用率は下がりましたが、就労事業の報酬改定増額分や区分の向上などもあり、生活介護は54,500,000円の予算に対し54,723,060円 就労事業は94,100,000円に対し93,478,120円となり、両サービス区分共に最終予算に近い実績を収めることが出来ました。結果 資金収支計算書の通り、機械及び車輛の更新や、就労事業収入の大幅な落ち込みにより、事業費と工賃積立金の取り崩し、事業支出の調整を行い、減収分を補填しました。

期末資金残高については、令和3年度2台分の車両更新を積立金取崩により購入していることもあり、今後に備え車輛積立金として550万円の積み立てを行い結果、当期資金収支差額3,988,665円 当期末支払い資金残高77,473,916円となりました。

設備整備については、送迎車両（セレナ）の入替の他、就労事業 配送車両（ハイエース）の入替を行いました。機械設備として食堂の消毒保管庫の更新、パン工場については、冷蔵庫の更新、真空包装機の増設、ななかまどは、ドウコン（パン発酵機）の更新、卓上ミキサーの更新、ステンレス作業台の設置、工場内空気清浄機2台の設置（ダスキン契約）、2階休憩室のエアコンの設置を行いました。生活介護はストーブを更新。イレンカはWi-Fi通信の安定化を目的に光回線工事を実施しました。その他施設内の設備整備として、休憩室エアコンの更新、感染予防対策としてプラズマクラスター空気清浄機の増設、ポプリ内1階トイレの換気扇の更新を行いました。これまで物置として使用していた旧かくれんぼう賃借契約の解約に伴い、愛

泉園よりプレハブを譲り受け物置として移設、古紙回収用物置を設置しました。敷地内の環境整備として、玄関前のスロープの設置他、駐車場の白線、駐輪場、敷地内の柵の整備を行いました。また、令和4年度 特定外国人実習生の受け入れに伴い住居整備として『てとて』のアンテナの更新、ストーブを設置しました。

災害時対策としては、引き続き地震、津波を想定した避難訓練を実施しました。食品衛生講習会は講師を招き実施し口腔内ケアについては、これまで学んだ知識を生かし看護師を中心に日常的なケアに努めてきました。救急救命講習については、予定していた時期に感染拡大が起きたこともあり、動画にて実施しました。

職員の研修への参加については、感染防止対策として出来る限り自粛し、定例会や各部署において可能な範囲で学習を実施してきました。

職員の育成については、以前より課題としている近い将来を見据えた定年退職者などを含む予測を立てながら、専門職としての知識、技術の継承などを含め計画的に体制の確保に努めてきました。また、人材育成については、当事業所に限らず法人規模が大きくなるほど、職員のモラルの適正化や職務に対する意識の向上の課題が大きくなってきており、幹部職員をはじめ組織全体で意識改善に努めていく必要があります。人材育成、相互育成を踏まえ、支援の質の向上、安定運営への取り組みを重要視してきました。また、人事考課制度については、引き続きインセンティブの付与を基本に人材育成を目的とし、職員の状態の把握や、課題の整理、スキルの向上に努めてきました。その他、LINE アプリを活用しタイムリーな情報の共有の強化、法人、事業所の統制を図るため『報・連・相』の定着、連携とチーム力向上を課題に継続的に取り組んできました。虐待問題については、全国的に未だ事件は絶えることなく発生しており、法人においては、年2回の自己チェックリストを継続し、ポプリ内では定例会を通じて『虐待防止法、障がい者差別解消法』の振り返りと事件の事例を基に、職員全体で意識を深めてきました。毎年度末に実施してきた個別支援計画書に伴う三者面談については、情勢を鑑み、郵送や電話での対応を行いました。

以上、令和3年度につきましても、コロナ禍により、上記記載のとおり多難な一年でありましたが、ワクチンの促進や重症化リスクが下がっている現状にあり、今後ウイルスの弱体化を願うばかりです。しかし、ウイルスが強化変異を起こす可能性も否めない反面、若年、高齢者、特定疾患者の重症化は現状の課題となっており、引き続き利用者・職員の安全を第一に感染予防対策を課題に置いていきます。

また、法人全体の動きとしては、生活介護の需要が高まる中、利用定員は満度に等しい現状にあり、その一方で利用者の高齢化が進んでいる現状と重度者支援への課題を踏まえ、令和4年度計画にある GH の新設に加え、先行きを見据えた今後の事業計画の構築が求められています。将来を見据え安定した事業の推進を図るため、引き続き人材育成と人材確保を課題としていきます。

## II、就労継続支援B型事業

### ■就労事業概要

就労活動の充実と豊かな生活を営むために、主体的に利用者が活動に参加し、財源となる就労活動収入を確保し工賃向上を目指しました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大がワクチン接種により終息して、国の政策による活発的な経済活動が期待されていた事から、就労食品事業（給食部、清掃部含む）の目標売上を87,500,000円に設定しました。しかし、感染拡大に歯止めがかからず、緊急事態宣言や蔓延防止重点措置が発令され、時短営業や日曜日の休業の他、きたキッチン札幌店の出店再開が中止となり、見込んでいた店舗販売や取引先の売上が減収した事から、令和3年度については、積立金を取り崩し収入実績が72,686,412円（昨年84,724,927円）となりました。支出については75,340,522円となり、収支差額が今年度2,654,110円のマイナス計上となりました。利用者工賃については工賃変動積立金を取り崩して21,932,868円（前年度20,849,260円）を支出し、目標としていた平均工賃月額36,700円に対して一人当たりの平均工賃支給額が35,158円（前年度35,099円：59円の増額）となりました。

### ■食品事業

令和3年度については、引き続きお客様に愛される店舗づくりを目的にクオリティの高い製品作りと安心な製品提供ができるよう毎月一回の就労会議を開催し、課題（店舗販売、製造、衛生管理、健康管理など）の振り返りや売上状況などを把握し、全体で共有を図りながら意識を高めてきました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、利用者や来店客に対して安全に利用できるよう対策を強化した他、HACCPの義務化に伴い、パン・菓子製造における衛生管理計画の作成と、外部委託（株式会社ダスキン）による衛生検査（年2回）を実施し、状況の把握と改善、維持に努め衛生環境の最適化を目指しました。

ポプリ内パン工場においては、ななかまど店舗や取引先（病院関係、学校給食、老人ホーム、保育園、各飲食店や宿泊施設）のパン、菓子類、餅類の製造を行った他、国立博物館ウポポイ（民族共生象徴空間）内のsweetscafé ななかまどイレンカにて販売する製品（主力商品、お土産製品）の製造を行いました。また、楽天市場（インターネット販売）を実施してきた冷凍あん餅販売のノウハウを活かして、白老町ふるさと納税返礼品事業に参加した他、ななかまど店舗直送販売事業を企画し、売上確保に努めました。札幌きたキッチンの外部販売については、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ販売活動が中止となりましたが、新さっぽろ店とオーロラ店からの提案により毎週水曜日と木曜日にパン製品の受注販売を開始しました。製造面においては、安定的な製品供給が出来るよう原材料の確保や包装資材の保管場所の設置、製造工程等の見直しを図り、効率的に作業が進められるよう努めました。また、HACCPの考えに基づいた衛生管理表を作成し、安全に生産活動が行えるよう衛生チェックを行いました。

製品については、各店舗にリピーターや新規のお客さんを増やす事を目的に、季節に合わせた新商品の開発を行いました。また、既存製品の品質維持向上を目指すため、原材料の把握と、どの製品がどれだけ在庫としてあるのかなどを記録し「在庫の見える化」を図り、生産効率向上に努めました。利用者支援については、個々の特性を踏まえながら技術向上に努め、新たな作業に順応していけるよう支援してきました。

ななかまどについては、親切・丁寧な接客、安定した品質の定着を図り、集客、売上の維持向上を目指し取り組みました。また、新型コロナウイルス感染対策として入店時の対応（入店制限、入店時の検温、アルコール消毒、イートインスペースの閉鎖、レジカウンターにビニールカーテンを設置、プラズマクラスター空気清浄機の設置）と、感染状況に応じた日曜日営業の自粛や時短営業の他、町内の外部販売の中止等を行いました。また、営業自粛期間中に、店舗内壁の漆喰塗装と清掃を実施し、清潔感のある店舗整備に努めました。

活動収入の安定と増収を目的に、一部製品の値上げを行った他、Instagramを活用し宣伝活動の強化と、季節に合わせたイベントの開催、29周年記念感謝祭、初売り等を実施しました。

感謝祭においては、昨年同様オリジナルトートバックを作成し、数種類（パン・菓子・餅）の新作製品が入ったバックを数量限定で販売しました。昨年度を超える来客数で、お客様に日頃の感謝の気持ちを伝える事が出来ました。その他、食品ロスや外部販売等の問題解決のために店舗で余ったパンを冷凍発送する通信販売（リベイク）を開始しました。大変好評で10月に開始してから3月までに150件の受注がありました。

sweetscafé ななかまどイレンカ店については、新型コロナウイルス感染状況（まん延防止重点処置等）に応じた営業をしてきました。主力製品（カップチーズケーキ、アップルパイ）をはじめ、お土産菓子や自家焙煎珈琲、愛泉園商品など「ここにしかない」付加価値のある製品の販売をした他、お客様に新鮮で季節を感じてもらえるような旬の食材を使用した製品を期間限定で販売し売上向上に努めました。設備関係においては、光回線システム設置が可能となり、安全なレジ操作、処理管理が適切に行えるよう通信回線の整備を行いました。感染症対策として入店制限、アルコール消毒、N95マスクの着用、店内消毒などを行い令和3年度では18,612,415円の売上がありました。

以上の事を踏まえ、将来的に利用者が安心して『働ける環境を確立』し、豊かな生活を営むための『工賃財源の確保』を保持していくためにも、民間企業同様の視点を持ち、時代の流れを絶えず察知しながら新しい物に目を向けた事業運営と危機感や探求心を持ちながら取り組む姿勢が不可欠であると考えます。令和4年度についても、引き続き感染症対策を行いながら以上の事を課題に置き、更なる発展が遂げられるように、引き続き全体が共通認識を持ち定期的に課題の整理を行いながら着実に前進していけるよう努めていきます。

#### 1) 利用者支援

利用者主体の就労現場を意識し、利用者個人が就労意識や自立心を高め、就労活動を通じて社会性を養っていけるような環境づくりに努めました。就労活動において、個人が抱える問題や悩み、また課題を明確にし、利用者一人ひとりが想いを主張し、目的に則した形で活動ができるように、定期的に利用者会議を行うなど、個人目標を立ててもらい活動を行ってきました。

個別の支援では一人ひとりの障がい特性を理解し、得意とする作業内容を選定し技術の習得と向上に努めました。技術の習得や成長には個人差は見られますが、社会性及び作業性共に個々の成長が見受けられました。

令和3年度については、更に利用者の主体性を高め、同時に作業意欲の向上を目指していくため、新作パンの開発企画として、利用者が考案したパンを職員がサポートしながら開発し、販売しました。また、新型コロナウイルス感染状況を見ながら就労学習会として食事マナーや活動の振り返りを行いました。また、視察研修（ニセコ方面のパン・スイーツ店見学）を企

画し、感染防止（マスクの着用、アルコール消毒、検温など）に努めながら各部署少人数で参加し、社会性や就労意識の向上に繋がりました。

## 2) 衛生保持、危機管理

食品を取り扱う部署としての意識を高めるため、日常的に必要な情報、知識等を適宜周知し食中毒や異物混入の防止に努めました。また安全な食品提供を行うため、作業場内の衛生保持に努め、白衣の点検、うがい手洗いの徹底を図りました。

危機管理においては、基本的に危険な機器を扱う部署でもあるため、機械の使用については職員の許可がある者に限定すると共に、取り扱いの注意を随時促すなど予測できる危険、事故については日常的に職員が目を配り事故防止に努めました。

## 3) 設備整備

パン工場：①配送用ハイエース公用車 1 台

②冷蔵庫 1 台

③真空包装機 1 台

ななかまど：①卓上ミキサー 1 台

②ステンレス製の作業台 1 台

③ドウコン 1 台

④空気清浄機 2 台

sweetscafé ななかまどイレンカ

①光回線工事

## ■給食事業部

就労事業として給食業務の実施を行い、利用者 3 名の個々に合った作業を提供することにより、技術の習得や責任感が育ち、出勤率の向上を図ることができました。また、給食会議に参加することにより職員との意見交換ができ、作業意欲の向上、社会人としての在り方を考えるきっかけとなりました。利用者さんの健康面を考慮し、特別食（肥満食、刻み食など）の提供を行いました。毎年行っている行事食（焼肉・流しそうめん）については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となりました。

作業面においては、安全面に配慮し、衛生管理の徹底を図りました。特に食中毒に細心の注意を払い、手洗い、消毒、適正な処理等、事故防止に努めました。

調理以外の作業として布巾縫いを行い、実生活でも役立つ練習にもなりました。

## ■施設外就労

令和 3 年度も施設外就労として総合福祉センターいきいき 4・6 の清掃業務を行いました。

### ① 清掃事業部

白老町より委託事業を請け白老町総合保健福祉センター（いきいき 4・6）の日常清掃業務作業の活動を実施しました。地域住民が日常的に利用する公共施設内で行う委託事業であるため、地域との繋がりを大切に、評価、信用性を第一に意識するなど、業務上における事故防止などの安全に配慮し、日常業務に努めました。また、業務を通じて利用者個人が社会性や自立心を養い、作業技術の向上を図っていくため、月一回の支援者会議を行うなど、日常的に支援、指導を実施しました。



### Ⅲ、生活介護事業

利用者の障がい特性に応じた「個別支援」を課題に、ニーズに対応した活動の提供、関係性を考慮した環境を構築し、安定した日常生活が送れる様、支援をしました。生産活動では、珈琲豆焙煎・野草茶製造作業、下請け作業等を行う中、過度な負担とならないよう、季節に応じた創作・外出活動を企画・実施し、作業意欲の維持や向上、気分転換を図り、安心して活動が行える様に支援をしました。また、療育活動の環境を整え、軽運動（電動ウォーカー、エアロバイク・散歩・芝生を利用した活動）や、知育を主とした活動を行い情緒の安定を目指しました。医療体制では、ポプリ専従の看護師を2名体制で配置をする事で、利用者の健康管理や安全面、緊急時の対応に配慮しました。

今年度も新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大する中、5月・6月・2月にまん延防止等重点措置、5月・8月と国の緊急事態宣言の発令があり、それに伴う施設内外の活動自粛もありました。その都度、感染症予防対策のマスク着用や手指の消毒、検温を実施し、安全対策を講じて活動に取り組みました。

#### 【生産活動】

##### ■自家焙煎珈琲

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大する中、5月・6月・2月にまん延防止等重点措置、5月・8月と国の緊急事態宣言の発令があり、不要不急の外出自粛が実施され、「ななかまど」では日曜日営業の自粛や、国立博物館ウポポイ（民族共生象徴空間）は国の緊急事態宣言を受け休館し、「Sweets café ななかまどイレンカ」の営業自体を自粛する事になり全体の集客数は減少しました。客数減少のあおりを受けたものの、収益に関しては昨年度と同様、約128万円の売上を計上する事が出来ました。取引先においては、「心のリゾート海の別邸ふるかわ」の受注が9月に停止した事で、売り上げが104,500円と大きく減少する結果となりました。

##### ■野草茶

年度当初は新型コロナウイルス感染症予防から、国のまん延防止等重点措置や緊急事態宣言を受け、「ななかまど」での販売の落ち込みや、「心のリゾート海の別邸ふる川」の受注の減少に繋がりましたが、固定顧客を含めて安定した注文・販売がありました。また、新たに白老町インフォメーションセンターが開設され、クマササ茶・カキドオシ茶・黒豆茶・エント茶の取引があり、年間を通して総額約40万円の売上を計上しました。

##### ■フードバックラベル貼り作業

ダイエットクックより、安定したラベル貼り作業の依頼があり、同法人施設「みらいえ」と作業を分担して行っています。令和3年度は昨年とほぼ同額の472,792円の売上を計上しました。

##### ■印刷作業

名刺作成作業では、法人内・役場・町内民間業者を中心に注文を受けました。点字の名刺が多岐にわたって定着してきたものと思われます。令和3年度は、企業間での人の往来も回復している傾向も見られており、年間を通して名刺の受注が微増し、51,599円の売上を計上しました。

以上、令和3年度の収入は2,794,064円となり、昨年度収入3,326,958円と比較して532,894円の減収になりました。

#### 【創作活動・療育活動・余暇活動・外出活動】

創作活動では「母の日企画」「父の日企画」「ハロウィン企画」「バレンタインデー企画」「ホワイトデー企画」等、季節に合わせて活動を実施しています。共生型事業所「はあもにい」の調理室を利用した「料理教室」は、今年度も新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から、実施することが出来ませんでした。

療育活動については、軽運動（ウォーキング・エアロバイク・電動ウォーカー）や、屋外での活動（芝生での軽運動）、看護師指導による姿勢や体幹を整える為の体操、口腔内ケアに努めた発声練習等を継続して実施しました。プール活動については新型コロナウイルス感染症による5月・6月・2月にまん延防止等重点措置、5月・8月と国の緊急事態宣言を受け、今年度は活動を中止としました。各活動時は感染症予防対策の為マスクの着用や手指の消毒、検温を実施し、安全対策を講じながら行いました。各活動については適度な運動時間の確保・気分転換に努めることが出来、情緒の安定につながりました。

余暇活動のカラオケでは4班に分けてポプリ2階食堂を使用して、毎月カラオケを実施しています。歌うことで情緒の安定や気分転換にもつながり、余暇の充実を図ることが出来ました。苫小牧のカラオケボックス「ゆめつくす」には新型コロナウイルス感染症予防から、令和3年度も施設を利用した活動は休止にしました。

外出活動は、季節に合わせて「水芭蕉見学」「花見」「果物狩り」を企画・実施しました。「果物狩り」については、新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置や緊急事態宣言を考慮し、10月に実施される運びとなり、壮瞥の「くだもの農家 浜田園」に行き、ブドウ狩りを行い情緒の安定や気分転換につながりました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、感染予防の観点から、各種屋内外の行事や活動については、その時の状況を鑑みて、マスクの着用や手指の消毒、検温を実施しました。

#### IV、日常生活支援

##### ・基本的な社会生活（挨拶・返事・マナー・ルール）の確立

日中活動を通じて社会的なマナーや身だしなみなどについて毎月一回の全体会や自治会を通して必要な情報を提供し、利用者自ら問題を提起し話し合いが出来るよう支援してきました。

##### ・自治会活動への支援

自治会活動に関しては定期的に役員会を開催し、誕生会や全体会などの企画や運営について利用者主体に実施していけるよう必要に応じてバックアップをしてきました。行事などで役割に当たった方はそれぞれ責任を持って取り組んでいる様子が見られます。

また、今年度も引き続き活気を持って日々の生活が送れるよう月間表彰を行い、個々の頑張りが評価されモチベーション向上に繋げていきました。

##### ・行事の実施

令和3年度の行事については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会情勢を鑑みて集団で行う大規模（バーベキュー、流しそうめん、一泊旅行、新年会、忘年会）などの行事を中止し、各部署で少人数の行事を企画して感染症予防対策を行いながら実施してきました。

##### ・行事内容

日程	主な行事内容
4月	
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間の会総会（各部署で開催）</li> <li>・就労学習会（仙台陣屋桜見学）</li> <li>・生活介護（桜見学）</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポプリ全体バーベキュー（中止）</li> </ul>
7月	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポプリ全体流しそうめん（中止）</li> </ul>
9月	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・29周年記念感謝祭</li> <li>・就労学習会（ニセコ方面のパン・スイーツ店視察）</li> <li>・生活介護日帰り旅行（壮瞥町：浜田果樹園）</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労学習会（ニセコ方面のパン・スイーツ店視察）</li> <li>・就労食品衛生講習会</li> <li>・ポプリ看護師による口腔内ケア（就労・生活介護）</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労学習会（活動の振り返りなど）</li> <li>・生活介護クリスマス・忘年会</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間の会新年会（中止）</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労学習会（外食マナー学習・作業への目標）</li> </ul>
3月	
自治会活動	<p>・自治会活動については、利用者が中心となり各種事業を円滑に進められるようバックアップを行った。大規模な行事は新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止とし、活動については各部署にて実施。</p> <p>&lt;各部署にて行った主な活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月一回誕生会と全体会</li> <li>・月間表彰の実施。</li> </ul>

## V、健康管理

年1回の健康診断を実施しました。その他、食後の歯磨き習慣、毎月の体重測定などを行いました。健康診断については、検査結果により、本人、保護者、家族、又 GH 利用者は看護師や地域支援センターあぶろと連携しながら必要に応じて再検査や受診を勧めるなど支援を行いました。

インフルエンザ対策（予防接種・室内の保湿）やノロウイルスをはじめとする感染症、特に昨年度より流行している新型コロナウイルスの感染防止策として、マスクの着用や手洗い・手指消毒の励行、毎日の検温、微酸性電解水の噴霧・アルコールによる消毒を行いました。

また、新型コロナウイルスに効果があるといわれているプラズマクラスター空気清浄機を各所に増設しました。

まん延防止措置として白老町と連携し、利用者、職員のほぼ全員がコロナワクチン接種を6～7月で1.2回目、2月に3回目を行いました。

歯科衛生講習会は、感染予防により歯科衛生士の派遣依頼は中止しましたが、看護師を中心に職員が、定期的にブラッシングの仕方や仕上げ磨き、歯ブラシの状態などを確認しています。

苫小牧保健所の職員を招き、利用者さん向けに行っている食品衛生講習会も今年度は中止しました。

## VI、給食業務

安心、安全な給食提供に配慮し実施しました。利用者への嗜好調査などを実施し、出来る限り要望にこたえ、季節感のある食事や行事食などの工夫を行いました。

給食製造は食品事業給食事業部への作業委託とし、利用者3名に対し職員2名～3名の体制で技術支援を行いながら進めました。

その他では、例年行われている行事食の提供（流しそうめん、BBQ 等）を感染防止から中止しましたが、町内飲食店の協力のもと感染対策を行いながら、外食のマナー、新商品へのインスピレーション、接客の学習など、各部署ごとに企画を立てて外食支援を実施しました。

## VII、管理業務

日常業務では、業務効率、安定した事業運営のための研鑽を行いながら事務処理の適正化を目指し業務を遂行してきました。法人内部研修（事務部会）を重ねて事業所相互の協力と連携をはかり、様々な課題提起とスムーズな問題解決に繋がるよう取り組みました。

施設管理では、借用していたかくれんぼうの返還に伴う備品の移動や処分、職員駐車場のライン等施設周りの整備、害鳥駆除、1F トイレの換気扇更新、正面玄関のスロープ設置などの営繕を行いました。また、送迎車輛入替、食堂消毒保管庫の更新、古紙回収用物置の設置、休憩室エアコンの更新、生活介護棟ストーブ更新を行いました。

研修関係では、新型コロナウイルス流行のため派遣しての研修参加はありませんでしたが、WEB での研修に参加し、職員のスキルアップと次年度での加算取得に繋がる講習を受講しました。

衛生・健康管理面では、毎日朝・夕方の館内消毒（トイレ、共用部分を中心に）を徹底し未然に防ぐよう心がけました。冬季のインフルエンザ流行時期を前に集団予防接種（任意）、微酸性電解水の噴霧等でノロウイルスはじめ感染症の予防強化、加湿器による活動室の湿度保持などの工夫を含め、施設内での感染防止に力を入れて行いました。一昨年度より流行している新型コロナウイルス感染予防も含めさらに強化し、ワクチンの集団接種（計3回）を町と連携し法人全体で行いました。備品消耗品の確保・備蓄に努めました。

防災・危機管理に関しては、津波を想定しての避難訓練を実施し利用者誘導の際の注意点や問題点を確認し、災害時の安全確保・心得、避難時の感染対策など学習する機会を持ちました。例年白老町消防より講師を派遣いただき、職員対象に救急救命講習を行っていましたが、今年度も中止しました。

広報活動では、従来の法人機関紙の発行、ホームページ、フェイスブック・インスタグラムを活用し店舗商品・イベントの宣伝など当施設の情報を発信しました。

苦情解決・虐待防止などに関しては、日頃より些細な利用者間のトラブルや悩み、家族の相談などに対し職員が都度時間をおかず直接対応し調整・解決すること、フォローアップを継続して行うことで、苦情としての取り扱いはありませんでした。

実習等に関しては、コロナ禍ではありましたが養護学校の実習を受け入れました。行政からの紹介による利用者の受け入れも、法人内事業所との連携を図り、面談やケース会議・体験実習を行いながら対応し、利用・契約に繋がりました。

なお、日中一時支援事業の利用はありませんでした。

## VIII 利用関係状況報告

就労活動	収支	総収入	75,480,476 円 + 積立取崩	4,917,848 円 + 補助金、繰入金	73,000 円
		(就労B)	72,686,412 円 + 生活介護	2,794,064 円	
		総支出	78,230,470 円 + 固定資産	2,240,854 円 + 年度末積立	0 円
工賃支払い総額 21,932,868 円 (前年度実績: 22,986,000 円)					
就労B事業 月額平均額 1名 35,158 円 生活介護 月額平均額 1名 6,537 円					

### <定員構成>

\*4年3月31日現在

	定員	契約数	男	女	入所者	退所者	備考
生活介護	20	27	18	9	2	1	退所:長尾、土田 異動: 佐々木健、宮地
就労継続支援B	40	48	34	14	1	3	退所・異動:小笠原勉、佐々 木健、宮地 入所:村岡
合計	60	75	52	23	3	4	

### <年齢構成>

	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上
生活介護	0	6	9	5	6	1
就労B	1	6	9	21	9	1
合計	1	12	18	26	15	2
最高齢者 72歳 / 最年少者 18歳 / 平均 40.75歳						

### <在籍年数>

入所年度	3	2	1	30	29	28	27	26	25	24	23	平均	
生活介護	0	0	1	1	2	1	2	3	0	1	0	生活介護	11年 8か月
就労B	1	1	2	0	1	2	1	0	3	0	2	就労B	15年 9か月
合計	1	1	3	1	3	3	3	3	3	1	2		

入所年度	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12
生活介護	2	1	1	0	2	2	0	0	0	4	3
就労B	1	3	0	1	0	1	3	1	1	10	13
合計	3	4	1	1	2	3	3	1	1	14	16

### <障害区分>

療育手帳	A	B	なし	精神	身障
生活介護	17	7	1	(2)	(4)
就労B	11	36	0	(0)	(5)
合計	28	43	1	0	(10)

### <居住別>

区分	2	3	4	5	6	自宅	GH	
生活介護	0	5	9	7	6	生活介護	11	16
就労B						就労B	23	24
合計	0	5	9	7	6	合計	34	40

生活介護平均区分 4.52

### <出身地別>

	白老町	登別市	苫小牧	札幌市	室蘭市	千歳市	江別市	伊達市	三笠市	浦河町
生活介護	15	1	8	1	1	0	0	0	1	0
就労B	21	6	9	2	4	1	2	1	0	1
合計	36	7	17	3	5	1	2	1	1	1

令和3年度の動向

	施設業務関係	就労B・生活介護事業関係	研修・行事他
4月	辞令交付式・永年勤続表彰 各種会議 (支援会議、職員会議、ケ ース会議、部署会議、運営会 議、管理者会議) 会計事務所任意監査 食堂食器乾燥機更新	利用者工賃2年度期末手当 (生)カラオケ・創作活動・水芭 蕉見学 (就)配送用ハイエース納車	利用者全体会 利用者誕生会
5月	法人幹事監査 理事会 各種会議	(生)カラオケ・創作活動・桜見 学 (就)よもぎ採取・就労学習会・ ななかまど壁改修	利用者全体会 利用者誕生会
6月	コロナワクチン接種 避難訓練 消防設備点検 理事会・評議員会 各種会議	(生)カラオケ・創作活動 (就)ななかまど店舗整備	仲間の会総会 利用者全体会 利用者誕生会
7月	コロナワクチン接種 会計事務所任意監査 健康診断 各種会議	(生)カラオケ・創作活動 (就)工場冷蔵庫・ななかまどド ウコン入れ替え	利用者全体会 利用者誕生会
8月	夏期休業 各種会議	利用者工賃夏期手当 (生)がらが・創作活動・盆踊り (就)食品衛生協会巡回・駅北インフ ォメーションセンター販売	利用者全体会 利用者誕生会
9月	カーヒス調整会議・モニタリグ 法人幹事監査 会計事務所任意監査 休憩室エアコン更新 各種会議	(生)カラオケ・創作活動 (就)	管理者事務員 研修 利用者全体会 利用者誕生会
10月	インフルエンザ予防接種 防災訓練 社会保険事務所監査 各種会議 送迎車セレナ納車	(生)カラオケ・創作活動・外出 活動果物狩り (就)感謝祭・就労学習会・食品 衛生講習会・養護学校実習受入・ ルカ光回線工事・ルカ衛生検査	のぞみ園 Web 研修 利用者全体会 利用者誕生会
11月	会計事務所任意監査 各種会議	(生)カラオケ・創作活動・焼き 芋 (就)就労学習会・衛生講習会・ 衛生検査・職場体験受入・お歳暮 受注開始	利用者全体会 利用者誕生会 防火管理者講 習 人権擁護セミナー

12月	法人幹事監査 各種会議	利用者工賃冬期手当 生) クリスマス忘年会・カラオケ・創作活動 就) ななかまどクリスマスフェア・お歳暮・年越し餅販売・就労学習会・真空包装機(歳末助け合い)	利用者全体会 利用者誕生会
1月	会計事務所任意監査 各種会議	生) カラオケ・創作活動 就) ななかまど初売り	利用者全体会 利用者誕生会
2月	カーヒス調整会議・モニタリング コロナワクチン接種 各種会議	生) カラオケ・創作活動 就) 就労学習会	利用者全体会 利用者誕生会
3月	法人幹事監査 会計事務所任意監査 避難訓練 救命救急講習 各種会議	生) カラオケ・創作活動 就) 棚卸	利用者全体会 利用者誕生会
4月		利用者工賃3年度期末手当	